

小平浪平年表

- 1874(明治 7)年 1月 小平惣八の次男として栃木県下都賀郡
家中村大字合戦場に生まれる
- 1888(明治21)年 4月 東京英語学校入学
- 1891(明治24)年 7月 第一高等中学校合格
- 1894(明治27)年 4月 村井弦斎と相談、電気工学に進むこと
を決意
- 1896(明治29)年 9月 東京帝国大学工科大学電気工学科入学
- 1900(明治33)年 7月 東京帝国大学工科大学電気工学科卒業。
9月 合名会社藤田組小坂鉱山に電気主任技
術者として入社
- 1904(明治37)年 1月 小坂鉱山を辞職
- 5月 結婚(妻、也笑)
- 5月 広島水力電気株式会社に電気主任技術
者として入社
- 1905(明治38)年 5月 広島水力電気辞職、東京電燈株式会
社に技師として入社
- 1906(明治39)年 10月 東京電燈株式会社辞職、久原鉱業所日
立鉱山に工作課長として入社
- 1911(明治44)年 12月 日立製作所主事
- 1915(大正 4)年 8月 日立製作所所長
- 1920(大正 9)年 2月 株式会社日立製作所独立と共に同社専
務取締役就任
- 1928(昭和 3)年 6月 久原鉱業株式会社(12月、日本産業株
式会社に改称)取締役就任
- 1929(昭和 4)年 5月 株式会社日立製作所取締役社長に就任
- 1933(昭和 8)年 12月 電気学会会長に就任
- 1936(昭和11)年 2月 買収した株式会社大阪鉄工所(現日立造
船株式会社)取締役会長に就任
- 1937(昭和12)年 1月 国産工業株式会社取締役社長に就任(5
月1日に日立製作所と合併)
- 6月 日産火災海上保険株式会社取締役に就任
- 1939(昭和14)年 5月 日立航空機株式会社、日立兵器株式会
社、日立工作機株式会社3社の取締役
会長に就任
- 1940(昭和15)年 11月 国産精機株式会社取締役会長に就任
- 4月 満州日立製作所、篠原機械株式会社両
社の取締役会長に就任
- 1941(昭和16)年 10月 日産生命保険株式会社取締役に就任
- 4月 株式会社日立製作所取締役会長兼社長に
就任
- 8月 日立精機株式会社(国産精機、日立工作
機、篠原機械が合併設立)取締役会長に
就任
- 1942(昭和17)年 12月 東京機器工業株式会社取締役会長に就任
- 1943(昭和18)年 4月 日立造船株式会社取締役会長に就任
- 6月 電気事業に対する功労者として通信大
臣より表彰される
- 1947(昭和22)年 3月 株式会社日立製作所社長辞任
- 4月 公職追放の指定を受く、株式会社日立
製作所取締役会長辞任
- 1951(昭和26)年 6月 公職追放解除、株式会社日立製作所相
談役に就任、日立造船株式会社相談役
に就任
- 10月 永眠

丸善

松下幸之助年表

- 1894(明治27)年 11月 松下政楠の三男五女の末子として和歌山
県海草郡和佐村に生まれる
- 1901(明治34)年 4月 和歌山市雄尋常小学校入学
- 1904(明治37)年 11月 小学校を四年で退学し、宮田火鉢店に丁
稚奉公
- 1905(明治38)年 2月 五代自転車店の丁稚となる
- 1910(明治43)年 6月 五代自転車店退店
- 7月 桜セメント(株)に臨時運搬工として勤務
- 10月 大阪電燈幸町営業所に内線見習工として
入社
- 1913(大正 2)年 関西商工学校夜間部予科入学(14年退学)
- 1915(大正 4)年 9月 井植むめのと結婚。同年、内線係担当者
より検査員に昇格
- 1917(大正 6)年 6月 大阪電燈を退社し、大阪市猪飼野でソケ
ットの製造販売に着手
- 1918(大正 7)年 3月 松下電気器具製作所として創業
- 1920(大正 9)年 3月 歩一会を結成
- 1923(大正12)年 3月 「砲弾型電池式ランプ」を考案発売
- 1925(大正14)年 12月 大阪市の連合区会議員に当選
- 1927(昭和 2)年 1月 電熱部を設立
- 4月 電気アイロンの販売を開始
- 4月 角型ランプを考案発売、この商品からは
じめて「ナショナル」の商標を使用
- 1930(昭和 5)年 8月 ラジオセットの販売を開始
- 1932(昭和 7)年 5月 創業記念日を制定し、第一回創業記念式
を挙行
- 1933(昭和 8)年 5月 事業部制を実施
- 7月 松下電器の遵奉すべき精神を制定
- 1935(昭和10)年 12月 松下電器製作所を改組し、松下電器産業
(株)を設立。連盟店制度を実施
- 1940(昭和15)年 1月 第一回経営方針発表会を開催
- 1946(昭和21)年 6月 財閥家族の指定など七つの制限を受ける
- 11月 PHP研究所を開設
- 1949(昭和24)年 10月 ナショナル共栄会発足(代理店会)
- 1950(昭和25)年 10月 財閥家族の指定をはじめ七つの制限のほ
とんどが解除される
- 1951(昭和26)年 1月 最初の渡米視察
- 1952(昭和27)年 3月 フィリップス社との提携仮調印成立(本
調印は27年10月)
- 1961(昭和36)年 1月 松下電器産業会長に就任
- 1964(昭和39)年 7月 全国販売会社代理店社長懇談会を開催
- 8月 営業本部長代理として経営改革の指揮に
当たる
- 1968(昭和43)年 1月 国立京都国際会館理事長に就任
- 1971(昭和46)年 4月 飛鳥保存財団理事長就任
- 1973(昭和48)年 7月 松下電器産業会長を辞任、取締役相談役
に就任
- 1980(昭和55)年 4月 松下政経塾を開塾
- 1982(昭和57)年 3月 大阪21世紀協会会長に就任
- 1983(昭和58)年 5月 国際科学技術財団を設立、会長に就任
- 10月 「日本国際賞」を創設
- 1989(平成元)年 4月 永眠

丸善